

2011年8月9日(火)

## テスト直後の勉強方法を考える

開倫塾

塾長 林 明夫

Q：模擬試験はじめ様々なテストが終わった直後は、どのような勉強をすればよいのですか。

A：(林明夫：以下省略)これは素晴らしい質問です。(It is a very good question!!)

(1)今日は、開倫塾の多くの校舎では中学2年生、3年生の模擬試験が実施されていますので、とても素晴らしい質問だと思います。

(2)模擬試験が終了すると、解答が配られます。その「解答集の読み方」が大事で、すべてを決めます。

(3)ではどうするか。心を落ち着けて科目別に1つ1つの問題をまずはゆっくりと読み、学校や開倫塾の先生の授業を聞くようなゆっくりさで、ゆっくりと一語一語かみしめながら「解説文」を読む。「ああそうなのか、これはこういうことだったのか」と「納得」するまで、ゆっくりと読むことです。

(4)解説文を読んでいて、大事なところには、うすい色の「マーカー」や「色えんぴつ」で「印」をつけていく。「間違えた問題」には、「問題文」と「解説文」に「間違いマーク」をつける。「よくわからない」ところには、「よくわからないマーク」を決めてつけておく。

(5)なぜ間違えたのか、その「理由」を自分で追究する「<sup>ごとうぶんせき</sup>誤答分析」を行う。

よくわからないからできなかったのは「理解」不足なので、「学校」の教科書や「開倫塾」のテキスト、各科目の「学年別の参考書」、各科目の「用語集」などを用いてよく調べ、「理解」につとめる。必要なことは「ノート」にメモしておく。

うろ覚えや計算ミス、パターン練習不足なら、「音読練習」、「書き取り練習」、「計算・問題練習」をその場で繰り返し、スラスラできるまでにしておく。

全く歯が立たないものは、「間違いノート」というノートを作り、「正解」や「解説」をそっくり書き写す。

この「間違いノートづくり」については、開倫塾教務部長の渡辺博先生の指導通りに行ってください。(別のプリントを御覧下さい)

(6)テストは終わった後が大事です。テストが終わった後、できた、間違えたと「<sup>いつきいちゆう</sup>一喜一憂」しても学力は身につけません。以上のような勉強をしてはじめて、次のテストで大きく点数が上昇します。以上です。わかりましたか。

Q：はい、よくわかりました。

A：(1)今まで2～3週間、開倫塾の塾生の皆様はよく勉強しました。立派です。この塾長特別講義の文章も、今日までよくお読み下さいました。ありがとうございました。

- (2)ただ、夏休みはまだ半分残っています。これから勝負です。お盆特訓のある受験生はすべての科目とも必ず参加し、さらに力をつけて下さい。
- (3)お盆特訓のない学年の塾生の皆さんは、8月分授業までに、本日の模擬テストの内容も含め開倫塾の夏期講習会のテキストを、文字通りスミからスミまですべて身につけて下さいね。この夏の勉強が、秋からの学力の大幅な飛躍に必ず直結します。
- (4)日本国内には、この暑い中で避難所暮らしをしている方がたくさんいらっしゃいます。また、放射能におびえながら家の中にこもって生活している方もおられます。
- (5)いろいろな人々のつらい立場を考えて、今自分がしなければならないことは何かを考えながら毎日を過ごして下さい。
- (6) 夏期講習会に引き続いて行われた模擬試験を受けたばかりの塾生の皆様は、頭の中がフル回転し、冴え渡っています。こんな時こそ、自分のやりたい勉強をやりたいだけやる最大のチャンスです。  
読みたい本を読みたいだけ読む最大のチャンスです。今は夏休み、しかもこれから先は世の中はお盆休みです。時間を自分で作り出して、やりたい勉強をやりたいだけやる、読みたい本を読みたいだけ読むことをお勧めします。  
夏期講習会と模擬試験で頭が冴え渡っている今が、勉強と読書の最大チャンス。勉強も読書もどんどん進むはずです。
- (7)私の2011年夏塾長特別講義も、夏休みの前半のお話はこれでおしまいです。本当に皆様よく勉強しましたね。

では、またお会いしましょう。

以上